



主な質疑は下記のとおりです

詳しくは県議会ホームページをごらん下さい

テーマ	三 浦 質 問	知事および部長の答弁
①知事選の結果と今後の県政運営	<p>○今回の知事選では6割以上が反村井票だったが、有権者の判断に対する率直な感想は。</p> <p>○選挙結果を真摯に受け止め、県民の声に寄り添い、子育て・教育の充実に力を入れ、地方の声に耳を傾けるべき。</p> <p>○薄氷の勝利を受け、これまでの大型事業一辺倒ではなく、福祉、医療、農林水産などに重点を置いた県政に転換すべき。反省をこめた見解はどうか。</p>	<p>知事 きびしい結果だった。慢心することなく取り組んでいく。市町村ともタイアップし、現場の声に耳を傾けていく。</p>
②農林水産業の振興とクマ対策について	<p>○高市政権になって大臣が変わったとたんに、石破前政権が打ち出したコメ増産が一転して減産に舵を切った。農家からは不安や怒りの声がでている。コメの価格高騰を抑え、安心してコメ作りができるよう、価格保障と所得補償が不可欠と思うが。</p> <p>○宮城県の新規就農者数は150人と東北で一番少ない。これをどう引き上げていくか、党県議団として福島・山形を視察してきた。年391名～405名と過去最高に驚いた。若い人だけでなく50歳～65歳まで新規就農者に挑戦できる。宮城でも予算と体制を抜本的に強化すべき。</p> <p>注)山形県の農業予算は総会計の7%弱との報告にびっくり。宮城はたった3.1%、宮城は山形の半分になっています。</p> <p>○養殖水産業や漁船漁業における海洋変化の影響は深刻な状況。水産宮城の予算を増やし、抜本的対策に乗りだすべき。</p> <p>○桃生・河北地区の北方土地改良区には2カ所の排水機場があるが、水利施設の県負担が1%になっており、市と農家負担は65.5%になっている。他の水利施設の県負担は25%になっており、早急に是正すべき。毎年石巻市からは、地元県議に対し県への要望を受けている。</p> <p>知事、この問題、あなたの権限で直さないよ!!</p> <p>○クマ対策については表面を参考に！</p>	<p>農政部長 合理的な価格と需要にすべきで、今後の動向を注視していく。県としては引きつづき、現場の声を伺いながら、生産者が安心して営農できる制度となるよう国に要望してまいります。</p> <p>農政部長 今般、県担当職員も福島・山形県を訪問し現地を視察してきた。宮城でも50歳以上も対象とするよう人材確保に努め、新規就農者の確保に取り組んでいく。福島県ではワンフロアに農業経営や就農支援に関する相談体制が構築されていた。宮城でも参考にしたい。</p> <p>水産林政部長 必要な予算の確保に努め、海洋環境の変化を乗り越えて発展するよう全力で取り組んでいく。</p> <p>知事 よく、お話を聞いてですね、考えていきたいと思います。</p>
③航空自衛隊松島基地と「特定利用港湾」について	<p>○高市首相の「台湾有事」が日本の「存立危機事態」になるとの発言に対し、中国が猛烈な反発を強めている。宮城には水産物の輸入禁止やインバウンドでどのような影響を懸念しているか。</p> <p>○自衛隊松島基地では昨年と今年、続けて米軍事演習が行われた。東松島市長は基地機能の拡大に慎重な姿勢を示したが、村井知事はどのような認識か。</p> <p>○大規模な自衛隊統合演習が行われ、10月22日石巻港から88SSM(地対艦ミサイル)がフェリーで出港。国が示した「特定利用港湾」の先取りとも言うべき事態。国は災害など民生利用のためと説明するが、有事を想定した港湾利用に道をひらくことになる。県は拒否すべき。</p>	<p>知事 中国との関係で影響を心配しているが、今のところ直接的影響は少ない。</p> <p>知事 同盟国との訓練は必要なこと。</p> <p>土木部長 有事を想定したものではないと、国から説明を受けています。</p>